



講演をするヨナス・ラスカス氏

障害者権利条約を批准した国は、条約の規定により国内における条約の実施状況について、条約発効後2年以内に、障害者権利委員会（以下、「権利委員会」という。）へ報告することが義務付けられています。日本の審査は2020年8月の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていたところ、本年8月22、23日、ジュネーブの国連で日本の初めての建設的対話が行われました。

日本障害フォーラム(JDF)では、建設的対話に向けて2017年からパラレルレポートの作成に取り組むと

スイス・ジュネーブの国連欧州本部において障害者権利条約の日本発となる建設的対話が行われたことを受け、日本障害フォーラム(JDF)では9月20日にオンラインで報告会を開催しました。

JDF報告会を開催 障害者権利条約第1回建設的対話を終えて



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
アアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

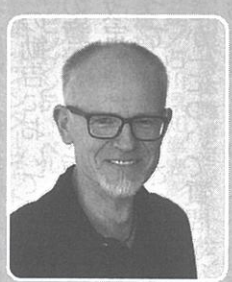


あいさつをする阿部一彦会長 (JDF代表)

報告会の冒頭、阿部代表からは「報告会を今後の活動の道しるべとし、今回の総括所見をもとに、障害者施策の向上とインクルーシブ社会実現のための活動の輪を拡げたい。」と挨拶がありました。続いて、国会議員等の来賓紹介の後、ラスカス氏から「障害者権利委員会の取組と日本の建設的対話」と題し、記念講演が行われました。講演では、特にインクルーシブ教育と地域での自立した暮

ともに、より良い総括所見が示されるように現地ジュネーブに阿部一彦代表日身連会長、他約70名を派遣し、権利委員へのブリーフィングやロビー活動を積極的に行いました。そして、建設的対話を経て、9月9日、権利委員会から日本政府に対して総括所見が公表されました。JDFでは、建設的対話と総括所見(勧告)を受けた今後の条約実施をテーマに、権利委員会副委員長のヨナス・ラスカス氏を講師にむかえ、9月20日、障害団体関係者や国会議員、府省庁関係者等約850名の参加者のなか、報告会を開催しました。

PROFILE



ヨナス・ラスカス氏
Jonas Ruškus

教育学で博士号を取得し、リトアニア共和国のヴィータウタス・マグナス大学社会福祉学部所属。2015年から国連障害者権利委員会委員を務め、2期目2019年からは副委員長として委員会をけん引された。2期8年の任期上限を迎え本年12月末で退任。国別報告者を務めるのは日本を最後に11本。日本審査では、韓国のキム・ミヨン氏とともに、重要な役割を果たしてくださった。なお、今回の権利委員会では、ウクライナの障害者の状況に大きな焦点が当てられ、その取り組みにおいてもリーダーを務めた。

らし(「脱施設」)の推進について言及、地域で学び、暮らすことの重要性和取組の強化の必要性を強調されました。そして、「私たち抜きに私たちのことを決めないで」の言葉で、講演を締めくくりました。

講演の後は、パラレルレポート作成に携わったJDF特別委員会の有志から日本の建設的対話で権利委員会から出された主な条文の質問等が紹介されました。最後に、藤井克憲副代表から閉会挨拶があり、報告会は盛会のうちに終了しました。

障害者雇用促進法の二部改正法律案要綱を審議 厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会

9月9日、第122回労働政策審議会障害者雇用分科会が開催され、障害者雇用促進法の一部改正法律案要綱について審議し、了承されました。

この要綱は、障害者雇用分科会(以下「分科会」という。)が中心となって作成した『今後の障害者雇用施策の充実強化について(意見書)』(6月17日提出)を踏まえて厚生労働省が作成したもので、今回、当該法律の一部改正を見据えて厚生労働大臣が労働政策審議会へ諮問したものです。(8月号2面参照)

要綱では、改正法の施行を令和6(2024)年4月1日からしていますが、雇用の質の向上に向けた事業主の責務の明確化については来々年4月1

日から、障害者雇用と障害者福祉の連携の促進については交付の日から3年以内の施行となっています。また、施行後5年を目途として、施行の状況を勘案しつつ検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講じること付記されました。

また、2021年度目標に係る評価及び2022年度目標設定として、ハローワークにおける障害者の就職件数に関して2021年度目標を達成した旨の説明がありました。(障害者雇用率は年度内を別途公表予定)しかし、コロナ禍以前には戻ってはいないことから、2022年度の目標を2019年度実績(10万3163件)以上とすることが説明され、了承されました。

障害者差別 解消法

基本方針改定案審議続く

9月26日に第70回障害者政策委員会がオンラインで開催され、前回に引き続き、障害者差別解消法の基本方針改定案について審議しました。なお、日身連から阿部会長が参画しています。

会議でとくに委員から意見が出されたものは、不当な差別的取扱いに該当しない、あるいは合理的配慮の提供義務に反しないと考えられる例としてあげられたいくつかの事例です。「事例

はあくまでも例示であり、個別事案ごとに判断することが必要」との前置きはあるものの、委員からは例示の内容をもって、事業者側が不当な差別的取扱いに該当しない、あるいは合理的配慮の提供義務に反しない対応であるかのように受け取るのではないかと、との懸念が出されました。

阿部会長は、8月に行われた国連障害者権利委員会の対日審査を経て、政府に

障害福祉サービスの質向上をめざし 研究検討会がスタート

障害者自立支援法発足当初より障害福祉サービスの質の確保・向上については様々な議論が交わされてきました。令和4(2022)年の障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて社会保障審議会障害者部会報告書では、「今後の取組として、居住や生活の場であり、運営が閉鎖的になるおそれのあるサービス類型については、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れることが、事業運営の透明性を高め、一定の質の確保につながるものと考えられ、介護分野の運営推進会議を参考とした仕組みを導入することが有効」との指摘がされました。

そこで、居住系サービスの事業運営の透明性やサービスの質の確保・向上

示された勧告(総括所見)の内容に触れ、「今般の勧告においては、障害の人権モデルの意義が多く指摘されている。基本方針改定案は社会モデルに基づく内容となっているが、この点をどうとらえるべきか」について質問を行いました。

なお会議の終わりに、国連の対日審査に出席した石川准委員長(元障害者権利委員会委員)より、審査の状況について報告がなされました。

のための仕組みの導入やその実施方法の検討を目的に、障害福祉サービス等の質の評価のための基準等の作成に関する研究検討委員会が始まりました。委員会では、障害福祉サービスや介護保険サービス現場の好事例等把握のため自治体や事業所へヒアリングを行うとともに、施設入所支援や共同生活援助における評価の方法や考え方を検討し、令和5(2023)年2月を目途に報告書をまとめる予定です。

9月29日に行われた第2回検討会では、4事業所に対して質の評価の取組に関するヒアリングが行われました。日身連からは阿部一彦会長が委員として参加しています。

特集 全国の「障害者週間」の取組

地域では障害者週間に向けて多彩な行事が予定されています。ぜひ、地元の行事をチェックしてみてください！
なお、新型コロナウイルスの影響から、事業の中止・延期・内容の変更などがあるかもしれませんので、事前に
ご確認いただきますようお願いいたします。
行事情報の掲載にあたっては、加盟団体の皆さまにご協力をいただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。

都道府県 ・政令市

行事名／実施日／実施場所／実施内容

宮城県

◆「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会／作品募集期間：6月上旬～8月上旬 審査結果発表：10月下旬 全国大会応募：9月下旬 (優秀作品のみ) 作品展示 (全応募作品)：12月5日～9日／宮城県庁行政庁舎 2階 回廊壁面／障害者の文化・芸術活動の促進と、障害者週間における啓発活動の一環として、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会が主催する障害者による書道・写真全国コンテストの宮城県予選会を兼ねて開催する。

秋田県

◆第40回秋田県身体障害者福祉大会／10月6日／あきた芸術劇場ミルハス／県知事表彰、秋田県身体障害者福祉協会会長表彰、体験発表、大会宣言、大会決議、岩本公水オンステージ ◆第22回いきいき芸術・文化祭／11月3日～5日／秋田市にぎわい交流館あう／障害者芸術福祉展の開催、絵画、彫刻、工芸・書道、陶芸等の作品展示・表彰(終了後)、WEBによる作品公開及び入賞作品を県庁ホールにて展示、障害者事業所等製作した物品等の販売、知的・発達障がい疑似体験、オリイ研究所による講演、eスポーツ体験会、VR障害体験、映画「こんな夜更けにバナナかよ」愛しき実話」上映会(無料)、いきいき「友活」交流会、点字体験会の開催

山形県

◆山形県身体障害者福祉協会女性会員研修会／11月29日／山形県身体障がい者保養所「東紅苑」ほか、オンラインにて県内各地／女性会員等が集い学びながら、情報交換と親睦を図り、更なる活性化を目指す研修会の開催。 ◆輝きの芸術文化作品展／12月3日～9日／山形県身体障がい者保養所「東紅苑」／作品展を通して障がい者に対する認識と理解を深めるための芸術作品展(個人展)の開催。 ◆市町村障がい者差別解消条例

福島県

◆第70回記念福島県身体障がい者福祉大会／10月26日／二本松市民会館／アトラクション、第一部 講演会、第二部 式典(福島県知事感謝状、福島県身体障がい者福祉協会会長表彰・感謝状の贈呈、大会宣言、大会決議) 啓発シンポジウム／12月6日／山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング／条例済み町村の取組み状況や法改正に伴う進捗状況等を把握するとともに、県内全市町村における条例制定の推進と更なる啓発を図るシンポジウムの開催

茨城県

◆ナイスハートふれあいフェスティバル2022／12月1日～5日／ザ・ヒロサワシティ会館／フェスティバルに出展した絵画、書道、写真及び陶芸、工芸の部における身体障害者の優秀作品に対して、連合会長賞を授与

栃木県

◆第27回栃木県身体障害者福祉のつどい／12月2日／とちぎ福祉プラザ多目的ホール／県下全市の身体障害者団体が一堂に会し、障害者福祉の向上のため共に考え、障害者週間啓発の機会として開催(式典、議事、演奏会)

群馬県

◆第23回群馬県障害者作品展／12月6日～11日／群馬県庁県民ホール／障害者作成した絵画等の作品を展示し、一般県民の福祉に対する理解を深めるとともに、障害者の社会参加への意欲を高める

千葉県

◆第54回千葉県身体障害者福祉大会／11月16日／青葉の森公園芸術文化ホール／千葉県社会福祉事業功労知事表彰、千葉県身体障害者福祉協会理事長表彰を授与する ◆第51回千葉県身体障害者作品展／10月18日～23日／千葉県立美術館／書、絵画、手工芸、写真の作品を公開展示する。なお、優秀作品には、知事賞、教育長賞、理事長賞等を授与する

東京都

◆障害者週間広報啓発事業及び障害者の法律・福祉特別相談事業／11月下旬～12月9日／都営地下鉄、私鉄、区市町村、小・中学校等／都身連事務所／東京都障害者総合美術展に応募があった図案の中からポスターに採用する。また、標語を広く募集しポスターを7060枚作成、交通公共機関、小・中学校などに掲出する。各相談内容に対応して弁護士などが電話相談を受ける

神奈川県

◆第14回神奈川県文化芸術祭／12月10日～11日／伊勢原市民文化会館 小ホール及び展示室／ダンスなどのサークル的活動を行っている安泰の発表と写真・書道・手芸・工作・絵画などの展示

新潟県

◆第20回新潟県障害者芸術文化祭／ふくらむアートふあつにいがたフェスティバル／11月1日～6日(美術展) 11月13日(ステージ発表)／新潟ふれあいプラザ(美術展) 新潟ユニゾンプラザ(ステージ発表)／障害者の芸術文化活動の振興を通じて、障害のある人の自立と社会参加を促進し生活を豊かにすることを目的として開催。○美術展(11月1日～6日)／絵画、書道・写真・工芸・文芸作品の展示 ○ステージ発表(11月13日)／歌唱、器楽演奏、踊りなどのパフォーマンス

富山県

◆第35回富山県身体障害者福祉大会／12月3日／高岡市ふれあい福祉センター／身体障害者福祉活動功労者表彰、心の輪をつなぐ体験作文優秀賞朗読、県に対する要望事項確認 ◆障害者週間街頭キャンペーン／12月2日／富山駅前、応募ポスターの入賞者作品をデザインしたポケットティッシュと作業所の製品を配布する

石川県

◆第68回石川県身体障害者福祉大会／11月6日／内灘町文化会館／石川県知事表彰、石川県身連会長表彰、前大会要望事項処理報告、議案審議、大会宣言等

福井県

◆第23回福井県障がい者ハートフル文化祭／12月3日～4日／ショッピングシティ・ベル あじさいホール／①作品展 ②発表動画 ③インターネット、チラシ、カタログ販売 障がいのある方が芸術文化活動をととして、生きがいや

都道府県・政令市
行事名／実施日／実施場所／実施内容

自信を創出し社会参加を促進するとともに、障がいに対する県民の理解と認識を深めることを目的とする

長野県

◆障がい者理解の啓発・周知／12月3日～9日／長野駅前、松本駅前、長野県庁1Fロビー／長野県主催で、例年12月に「街頭啓発」を、長野・松本駅前で行う。県庁ロビーでは、障害者週間の啓発ポスター等の展示を行う予定

岐阜県

◆第71回岐阜県身体障害者福祉大会／12月11日／各務原市民会館／式典(役員・援護功労者・自立更生者等表彰)、議事(決議・宣言文の承認) ◆障害者週間に係わる街頭啓発／障害者週間を中心とした12月3日～12月9日／岐阜県内／「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」の趣旨を踏まえ、県民の障がいのある人に対する理解を深めるため、障害者週間(12月3日～9日)に合わせ、県内各地で街頭啓発を実施 ◆第4回障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり県民大会 “ふれあいハートフルステージ”／12月24日／ぎふ清流文化プラザ／共生社会づくりの推進と障がい者芸術の振興に向け、障がいのある人もない人も共に参加できるクリスマスイベントを開催 ◆共生社会に向け、模範となる「団体・事業所」、「個人」の表彰・障がい者芸術ダンス、ピアノ演奏(合唱)の鑑賞・障がい者アート展等の入賞作品の展示

愛知県

◆第61回愛知県身体障害者福祉大会、街頭キャンペーン／12月11日(福祉大会)、10月1日～12月4日(街頭キャンペーン)／知多市勤労文化会館(福祉大会)、県内22市6町(街頭キャンペーン) ◆式典(知事表彰、県社協会長顕彰、本協会会長表彰)、議事(大会決議・大会スローガン・大会宣言の承認)・県民に「障害者週間」を周知するため、のぼり旗を掲げながら啓発用ポケットティッシュを配布する

三重県

◆第68回三重県身体障害者福祉大会／11月27日／津市白山総合文化センターしらさぎホール／県内の身体障害者団体が一致団結して諸課題に当たるとともに、福祉大会を開催して宣言・決議する(式典・宣言および決議採択・郷土芸能等) ◆三重県障がい者芸術文化祭／12月23日～24日／四日市市文化会館／障がい者の

滋賀県

芸術・文化活動に対する活性化を図り、障がい者の自立と地域社会への参画を推進する。作品展：絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸、貼り絵、CG、俳句の展示、ステージ発表：音楽(歌唱)、楽器、演劇、ダンス等

◆障害者週間啓発・推進事業【啓発活動】／障害者週間までの約1か月間／県内大型商業施設および各町庁舎窓口／「障害者週間」滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を啓発するグッズとのぼり旗の設置 ◆障害者週間啓発・推進事業【啓発イベント】／12月2日～7日／ヒバシティ彦根2階催事スペース／障害者団体等の活動紹介パネルの展示、「障害者週間」滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を啓発するグッズとのぼり旗の設置、障害者理解を深めるための体験コーナー等の実施 ◆滋賀県障害者理解を深めるための研修会／12月7日／ヒバシティホール／障害者差別解消法および滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例に関する講演と補助犬の活動を啓発するためのデモンストレーション ◆障害者週間啓発イベント(清掃)／11月17日／福祉ゾーン一帯の歩道／福祉ゾーンの施設利用者および施設職員による福祉ゾーン一帯の歩道の清掃活動

京都府

◆障害者週間啓発事業／12月3日～9日／京都府内・京都市内の協力機関窓口配架／啓発リーフレットを同封した「啓発用物品」を配付 ◆京都とっておきの芸術祭／12月1日～4日／日図デザイン博物館／障害者の芸術文化活動の可能性を切り拓き、障害者の社会参加の促進を図ることを目的として毎年開催。「絵画、陶芸、写真、書、俳句、川柳、諸工芸」の七部門の作品を展示。併せて「障害者週間」啓発ポスターコンクールへの応募作品も展示 ◆第23回京都府障害者をつどい／11月19日／木津川市中央体育館／京都府内の障害者及び関係者等が一堂に集い、障害者の自立と社会参加を推進し、障害者福祉の推進を図るとともに、広く府民へ障害についての理解と関心を深め、府内各地域等における「障害者週間」の啓発活動を一層強化することを目的として、毎年開催。府身連会長表彰や体験発表、踊りなどのステージ発表を実施。参加者約4000名

奈良県

◆近鉄大和西大寺駅アーバンビジョン／11月28日～12月4日／近鉄大和西大寺駅／近畿日本鉄道の奈良線と京都線が乗り一日当たり8万7000人が乗降

鳥取県

する大和西大寺駅のコンコースに設置されている18面のアーバンビジョンに「心のバリアフリー」と題したイラストを展示し、障害のある方を中心とした困り事とそれに対してどんな手助けができるのかを広報する

◆第62回鳥取県身体障がい者福祉大会／11月2日／倉吉未来中心小ホール／式典、県協会長表彰、講演、議事 ◆鳥取県障がい者作品展展示会／①11月25日～28日、②12月2日～5日、③12月9日～12日、④パールタウン ⑤丸由百貨店 ⑥米子しんまち天満屋／県内の身体的・精神的障がい者の作品の展示会

香川県

◆第53回香川県身体障害者福祉大会／12月9日／丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス／式典、表彰、大会宣言の採択等

愛媛県

◆第41回障がい者福祉推進愛媛県大会／12月10日／松前総合文化センター(広域学習ホール)／式典(知事表彰、体験作文発表)、講演、議事

佐賀県

◆第22回佐賀県障がい者文化芸術作品展／12月17日～25日／佐賀県立美術館 3・4号展示室／障がい者文化芸術作品展を開催することで、障害者の創作意欲向上や自ら文化芸術活動に取り組み機会の充実を図るとともに、障害者の社会活動への参加を促進し、障害者福祉の増進と普及啓発を図る ◆第11回障害者の主張大会／12月4日／アバンセ ホール／障害者及びその家族による発表、障害者理解啓発のための活動

長崎県

◆障害者芸術祭／12月4日／ありえこレジヨホール(南島原市)／諫早交響楽団の演奏で障がいのある人となない人が一緒になって合唱曲「花は咲く」などを披露 県内の障がい者施設・グループによるステージ、作品展(来場者の投票による表彰)、地元障がい者施設の販売会を開催 ◆県内市町長への要望活動／障害者週間／県内市町／県内各市町長へ要望書を提出

熊本県

◆くまもとハートウィーク 令和4年度(2022年度)くまもと障がい者芸術展／11月22日～27日／熊本県立美術館分館／主催：くまもとハートウィーク実行委員会 企画運営：社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会 芸術的・文化的な作品の創作を通して、障がいのある人の社会的自立への意欲を喚起し、社会参加の促進を図るとともに、障がいのある人に対する県民一般の理解を深めることを目的として開催

都道府県
政令市

行事名/実施日/実施場所/実施内容

宮崎県

◆「こころ」のふれあうフェスタ2022、障害者週間啓発活動/12月10日、12月3日、9日/メディキット県民文化センター、県内道の駅、県立施設等/(フェスタ)障がいのある方のステージ発表、障害者週間作文及びポスター表彰式、啓発チラシ、啓発物、障害者施設製作物の配布 (啓発活動) 啓発チラシ、啓発物、障害者施設製作物の配布

鹿児島県

◆あつたか交流フェスタ/12月4日/ハートピアがこしま/文化、障害者スポーツの体験教室、ふれあいステージ、福祉施設による物品販売

沖縄県

◆第55回沖縄県身体障害者福祉大会 ②第62回沖縄県身体障害者福祉展/11月19日 ②2月1日、5日/①沖縄県与那原町上の森かなちホール
②沖縄県中城村護佐丸歴史資料図書館/①身体障害者及び関係者等が一堂に会し、身体障害者及び関係施策の向上と障害者施策の具体的な推進を図る
②身体障害者の制作作品を一堂に展示し、障害者に対する県民の理解と関心を高めるとともに障害者の社会参加を促進する

札幌市

◆障害者週間記念事業/11月20日 ②12月3日、9日/①札幌文化芸術劇場 hitaru ②札幌市内/①障がい者演奏・車いすダンス等発表及び札幌交響楽団「ふれあい」演奏 ②あんま・マッサーシ無料奉仕

仙台市

◆福祉まつり「ウエルフェア2022」/12月4日/仙台市福祉プラザふれあいホール/記念式典(第一部)心の輪を広げる体験作文・ポスター等入賞者表彰(第二部)障害理解に関する講演) ◆ウエルフェアアート展/11月14日、18日 ②12月3日、11日/①仙台市役所1階ロビー ②仙台市福祉プラザ2階展示ロビー/障害者週間ポスターコンクール、書道、写真、絵画コンテスト作品展示 ◆コンサート(宮城野、若林、太田、七宝焼き教室(宮城野)、パッコー体験(若林)、SITT教室(太田)/12月3日/宮城野障害者福祉センター、若林障害者福祉センター、太白障害者福祉センター/障害当事者による演奏、障害者理解啓発のための活動 ◆ミニ作品展/12月3日、9日/宮城野障害者福祉センター、若林障害者福祉センター、太白障害者福祉

センター/障害者が制作した作品の展示

千葉市

◆第24回千葉市障害者福祉大会/12月3日/千葉市ハートセンター/市政功労者紹介、「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間ポスター」最優秀者表彰、第22回全国障害者スポーツ大会(栃木大会)、千葉市代表選手紹介、障害者による体験・実践発表、サヘル・ローズ氏講演会、出合いこそ、生きる力(要事前予約)

横浜市

◆「創ろうみんなで共々生きる社会を」レフレールピアノ連弾コンサート/12月4日/障害者スポーツ文化センター横浜ラポール ラポールシアター/横須賀出身の兄弟ピアノリスト「レフレール」が登場。一つのピアノから繰り出される2人の力強い演奏は、観客を惹きつける。(事前申込・抽選) ◆ユニバーサル国のアリス2023卓上カレンダー(障害者週間ぬりえ付き)配布 ◆HP Webデザイン「ハートあふれるまちにしよう」の展開

川崎市

◆「川崎市障害者週間記念のつどい」における市長表彰(手をつなぐフェスティバル共同開催) ②川崎市障害者作品展/12月3日 ②12月14日、18日/①とろろぎアリーナ ②アートガーデンかわさき/①障害者福祉の発展向上に尽力し、その功績が認められた方への市長表彰授与の式典 ②障害者が創作した作品の展示・ワークショップの開催

静岡市

◆障害者週間啓発活動①街頭啓発活動:啓発用ポケットティッシュ・クリアファイル配布 ②大型液晶モニターによる啓発・周知 ③市民公募ポスター、作文の公募表彰/①週間内3日間、②12月9日夕方 ③12月9日表彰式/①静岡市呉服町街頭、アピタ静岡、イオン清水 ②静岡駅前大型スクリーン ③葵区役所/その他の事業として、3区役所(葵、駿河、清水)の行政説明、障害者団体、特別支援学校等の活動パネルの展示

名古屋

◆「障害者週間」記念のつどい、障害のある人もない人も共に生きる社会/12月4日/名古屋市民会堂4階ホール/映画「Start Line」とビデオトークショー

大阪市

◆障がい者週間キャンペーン/12月3日、9日/①大阪市庁舎 ②大阪市24区内の主要駅・ターミナル、区役所等の公共施設/①大阪市役所において障がい者週

間街頭キャラバン出発式セレモニー ②街宣車にて市内各所を巡回、障がい者週間の啓発を行う ③各区支部が地元関係機関の協力のもと、地元の主要駅、ターミナル、公共施設において、障がい者週間啓発グッズを配布し、障がい者週間への理解を呼びかける

堺市

◆「障害者週間」フェスティバル/12月3日 10時、12時/堺市立健康福祉プラザ/児童文学・絵本作家中村李衣氏による講演会、絵本の読みあひから見えなくてもよい、人と人をつなぎます

神戸市

◆寄せ植え講習会/12月5日/神戸市立総合福祉センター 第5会議室/季節のイベントとしての寄せ植えを通じて一般市民と障害者の触れ合いの場とする。 ◆神戸市身体障害者福祉大会/1月14日/神戸市ピレホール/市内の障害者が一堂に会し、福祉の向上を訴え、市に要望していく

北九州市

◆障害者週間啓発イベント/12月3日/小倉井筒屋船場広場/障害者週間に合わせて、市民へ障害に関する啓発を行っているイベント。 ◆第15回北九州市障害者芸術祭ステージイベント/11月20日/ウエルとばた大ホール/歌やダンスなど、個性豊かなステージをお届け。 ◆第15回北九州市障害者芸術祭作品展/12月6日、11日/北九州市立美術館本館アネックス市民ギャラリー/「未来へ」をテーマに、絵画、書道、写真、工芸、手芸等の力作を会場いっぱい展示

福岡市

◆令和4年度障がい者週間記念の集い/12月4日/①福岡市役所西側ふれあい広場/①音楽トークショー、歌やダンスのステージ、児童の作文発表、障がい者団体等のトークショー。また、障がい者差別解消啓発動画「SOCIAL GOOD JOURNEY FUKUOKA」が私共が助けて助けられる話を上映 ◆第14回福岡市障がい児者美術展/12月20日、25日/②福岡市美術館/②福岡市内の福祉施設・学校に通勤通学する障がい児者が出品する美術展 全作品の内、50点が入賞

※掲載内容は検討中のものを含み、変更となる場合があります。詳細については、各加盟団体にお問い合わせください。

日身連へのご支援 誠にありがとうございます

※令和3年度分のご入金分を掲載させていただきました。

○寄付

株式会社アベックス様
にしんれん事業所株式会社様
阿部一彦様
菊地通雄様
佐久間愛子様
福田正義様

【個人会員】

青木憲一様
阿部一彦様
飯塚善明様
上田和子様
金堂正芳様
北村忠三様
小池孝様
佐藤正人様
滝壽郎様
手嶋勇一様
中西吉太郎様
服部邦子様
平岡正榮様
政田一美様
望月建志様
山口豊明様
山本征雄様
渡辺純一様

浅香博文様
嵐谷安雄様
石川一義様
大村圭男様
菊地通雄様
久米真様
佐久間愛子様
杉森重廣様
竹内正直様
土岐達志様
蓮沼毅様
平井正子様
藤井克徳様
宮澤勇様
森祐司様
山田みゆき様
若林勇人様

○賛助会員

【団体会員】

株式会社アベックス様
錦城護謄株式会社様
篠原電機株式会社様
株式会社スリーライク様
中央法規出版株式会社様
東武トップツアーズ株式会社様
名鉄観光サービス株式会社様
株式会社山一様

(五十音順)

◆日身連へのご寄付(賛助会員含む)は税額控除の対象となります

個人の皆さまは、所得税の税額控除の対象に(確定申告が必要ですが)、法人の皆さまは、特定公益増進法人に対する寄附金(法人税法第37条第1項・第4項適用)の対象となります。詳しくは事務局までお問合せください。

みんなで考えよう! 障害者自立支援機器

ニーズ・シーズマッチング 交流会2022

作る人と使う人の交流会

Web開催

日時:2022年10月1日(土)~2023年1月31日(火)
会場:テクノエイド協会のホームページ内「Web交流プラットフォーム」

大阪会場

日時:2022年11月28日(月)~30日(水)
▶13:00~17:00/▶9:00~17:00(最終日のみ16:00)
会場:OMM〔大阪マーチャндаイズ・マート〕(2階展示Aホール)

東京開催

日時:2022年12月14日(火)~16日(金)
▶13:00~17:00/▶9:00~17:00(最終日のみ16:00)
会場:東京都立産業貿易センター浜松町館(2階展示室)

主催:公益財団法人テクノエイド協会/厚生労働省



新型コロナウイルス感染症の今後の動向により、イベント開催の自粛が予測される場合には、無来場者開催(Web)に切り替えることと致します。
※詳細はテクノエイド協会のホームページをご確認ください。
<http://www.techno-aids.or.jp/needsmatch/index.shtml>

福祉機器の今・未来をサーチする

第49回

国際福祉機器展 H.C.R2022

- 最新の福祉機器関連情報
- 福祉分野の最新レポート

リアル展

日時:2022年10月5日(水)~7日(金)
▶10:00~17:00(最終日のみ16:00)
会場:東京国際展示場「東京ビッグサイト」
東1~6ホール

Web展

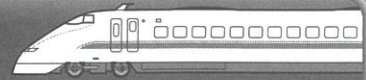
日時:2022年9月5日(月)~11月7日(月)
▶10:00~17:00まで
会期:2022年10月21日(水)~2022年末(予定)
会場:H.C.R Webサイト 特設サイト内



※詳細はH.C.R(一般財団法人 保健福祉広報協会)のホームページをご確認ください。

<https://hcr.or.jp/>

ジパング倶楽部特別会員のご案内



新型コロナウイルスに関するお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、期限内に更新の手続きができなかった場合は、必ず下記取扱団体へお申し出ください。期限を超えても更新として手続きいたします(詳細は日身連事務局・各取扱団体まで)。

■加入資格 身体障害者手帳をお持ちで
男性満60歳、女性満55歳以上の方

■年会費 1,400円

■きっぷの割引について

- (1) 割引対象となるきっぷ: JR線を「片道、往復、連続」で201km以上ご利用される場合、特急券・グリーン券・指定券などが割引されます。(新幹線「のぞみ」「みずほ」など一部割引とならないきっぷがあります)
- (2) 割引の内容: 3割引(ただし新規会員(期限切れ会員含む)は初回3回まで2割引となります)
- (3) 割引とならない期間: 4月27日～5月6日、8月10日～

8月19日、12月28日～1月6日の全ての期間
(4) 介助者の割引: 第1種身体障害者の方で、介助者が同行される場合は、介助者も同様の割引となります

■お申込みにあたっての注意点

- (1) お申込みをいただいてから、お手元にジパング手帳が届くまで約3～4週間程度かかります。ご旅行の際は余裕をもってお申込みください
- (2) 会員誌などの特典サービスはありません
- (3) 1年ごとの更新のお知らせ等は差し上げていませんので、手帳の使用期限には十分ご注意ください

■お申込み方法

各都道府県・政令市の日身連加盟団体もしくは取扱い団体にお問い合わせください

電話:03-3565-3399

FAX:03-3565-3349

ジパング倶楽部特別会員取扱団体一覧▶



新刊
ごあんない

障害者相談員のための活動ハンドブック

2021年4月発行 A5判/122頁 頒布価格1,000円(税込)

当会は、かねてより「障害者相談員活動」の促進を図るため、研修事業とともに、「手引書」や「事例集」の作成に取り組んできました。そうしたなかで、本書の前身となる『障害者相談活動のあり方・すすめ方』の発行から10数年が経ち、各方面からハンドブックの増刷や改訂のご希望をいただいていた。そうしたご希望に応え、今般、より活用しやすいハンドブックとして、『障害者相談員のための活動ハンドブック』を発行いたしました。本書は、相談支援をすすめる上での相談員としてのあり様や、障害者関係の制度等に関する基礎的な知識や技術を収めたハンドブックです。障害者相談員はもとより、障害者の相談を担当される方や団体関係者の方々の参考教材として是非ご活用ください。



お問合せ・お申し込み先

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会 事務局 〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-3
電話 03-3565-3399 / FAX 03-3565-3349 URL <https://www.nissinren.or.jp>

公益財団法人
福岡県身体障害者福祉協会
福岡県春日市原町3-1-7
福岡県総合福祉センター6階
☎092-584-6067 FAX092-584-6070

さわやかな思いやりを広げています
公益財団法人
北九州市身体障害者福祉協会
〒804-0067
北九州市
戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
電話 093-883-5555 FAX 093-883-5551

大分県身体障害者福祉協会
**大分国際車いす
マラソン大会**

障がい者の視点から
誰もが安心して暮らせる
社会をめざす

社会福祉法人
福岡市身体障害者福祉協会
福岡市中央区荒戸3-3-39 市民福祉プラザ4F
TEL 092-713-1353 FAX092-713-1393

一般社団法人
宮崎県身体障害者団体連合会
会長 永田 照明
880- 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内
0007 TEL(0985)26-2051 FAX(0985)55-0258

都城市高城地区身体障害者福祉会
会長 永田 照明

社会福祉法人
沖縄県身体障害者福祉協会
沖縄県八重瀬町字仲座 1038-1
TEL 098-851-3455
FAX 098-851-3855

協賛広告募集中
全国の加盟団体を通じてお申込みいただけます
TEL 03-3565-3399 FAX 03-3565-3349